



2018年6月4日(月)

NO. 863号 本号3頁

新潟県知事選挙に勝利し、 憲法9条改憲をめざす安倍政権に痛打を与えよう!

新潟県知事選挙が5月24日に告示され、6月10日の投票日に向けて、市民と野党の共闘の池田ちかこ候補が大奮闘しています。この度の新潟知事選挙は、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働の是非が最大の争点となっています。この知事選挙は、原発ゼロ、県民の暮らし最優先の新潟県政を実現させるとともに、国民を欺き、うそをつき、暴走政治を続ける安倍政権にNO!の審判を下し、安倍政権を退陣に追い込み、憲法9条改憲を断念に追い込む絶好のチャンスです。

池田氏は、「安心して持続可能な新潟への5つの約束」として、①原発ゼロのにいがた、②真の豊かさを実感できるにいがた、③暮らしやすさ日本一のにいがた、④誰もが豊かで、質の高い教育を受けられるにいがた、⑤県民ともっとも近い対話型県政のにいがた、を掲げています。そして、安倍9条改憲については「海外の戦争に自衛隊が加担できるようにする9条改憲は許さない」と、地元の市民と一緒に3000万人署名に取り組んでいます。

今回の知事選挙は前回の知事選挙とは違い、6野党が支援を決め、2日には立憲民主党の枝野幸男代表、共産党の志位和夫委員長、国民民主党の大塚耕平代表、所属の会の岡田克也代表、自由党の小沢一郎代表、社民党の又市征治党首が勢揃いして現地に入り、街頭演説を行うなど、一体となって勝利をめざし支援しています。

憲法会議 池田氏の支援決定

新潟憲法会議は、野党統一候補の池田ちかこ氏の勝利を勝ち取り、「安倍9条改憲阻止と安倍退陣の大きなウエーブを起こしたい」と決意し、奮闘しています。そして、「勝利のために全国の憲法会議に支援」を訴えています。それを受けて、憲法会議は、5月30日の担当常任幹事会で新潟憲法会議の要請を受けて、支援することを決定しました。

「憲法しんぶん速報」をお読みの皆さんにも、池田氏の勝利をめざして、下記の支援を呼びかけます。

① 新潟の知人・友人に電話等で池田氏への支持を訴えましょう。

② 仲間に訴え、募金を集め、送みましょう。

③ 可能な方は、新潟へ出向き、選挙の応援をしましょう。

| | | | | |
|--------|-------------------------------|----------------------|---------------|---------|
| 連絡先 | 新潟県憲法会議 | | | |
| 住所 | 950-1115 新潟市西区島原 275-3 酢山省三様方 | 電話 | 090-4923-0050 | |
| 募金の送付先 | 新潟県労働金庫 (本店) | 店番号 | 3 4 2 | |
| | 口座番号 | 1 0 9 1 6 7 0 (普通口座) | 金融機関コード | 2 9 6 5 |
| | ニイガタケンロウレン | | | |

新潟憲法会議とともに、参加団体と選挙事務所を訪問し、激励

憲法会議はさっそく6月1日に、担当常任幹事の皆さんの檄布と、憲法会議として集めた募金と東京憲法会議からの募金を持って、代表幹事の石山久男氏と事務局長の高橋信一が新潟憲法会議の

酢山事務局長とともに、新潟県法会議に参加する団体と、池田氏の選挙母体である「市民の思いつなぎ、もっと女性が輝くにいがたを創る会」の事務所を訪問し、激励しました。

参加団体の激励では、新潟県商工団体連合会、新日本婦人の会、新潟県労働組合総連合を訪問し、懇談、激励しました。民商では青木事務局長が「調査では相手の方がややリードしているようだ。全県の民商の会員とともに支持を広げ、頑張っていきたい」と。新婦人では浅間事務局長が県内の各支部に電話で励ましているときの訪問となりましたが、「各支部とも頑張っているが、さらに励まして支持を広げていきたい」と語りました。県労連では佐藤議長、広川幹事、新潟革新懇の栗田事務局長が応対し、「相手候補が争点隠しで、原発に関する公約をかぶせてきており、県民には分かりやすく知らせて行くことが重要になっている」等と、選挙情勢を語りました。3団体には、憲法パンフレットを手渡し、安倍9条改憲阻止に向けた3000万人署名の到達状況等を伝え、署名のとりくみ強化もお願いしました。



川俣氏に募金を手渡す石山氏



「創る会」事務所の様子

「市民の思いつなぎ、もっと女性が輝くにいがたを創る会」事務所では、会の事務局次長の川俣幸雄氏（日本共産党県委員会書記長）に檄布と募金を手渡し、懇談・激励しました。川俣氏は、新潟市内では相手候補名と「原発ゼロ」を連呼する違法なワンボックスカーがあちこちに出没するなど、名護市長選挙とまったく同じ様相になってきている等と、丁寧に選挙情勢を説明しました。その後、二人は事務所の近くにある「市民の思いつなぎ、もっと女性が輝くにいがたを創る会」電話センターで、電話で支持を訴えました。平日でしたが、約10人が電話かけを行っていました。

力を合わせ、9条を守る！若者憲法集会に1100人

東京都の上野公園野外ステージで3日、「9条変えるな!」「民主主義守れ!」と若者が憲法について考え、社会に向かって声をあげる若者憲法集会のメイン集会が開かれ、1100人が参加しました。

実行委員会を代表して開会あいさつした小山農日本民主青年同盟委員長は、「日本中の若者と力を合わせて、安倍政権も9条改憲も一緒に終わらせよう」と呼びかけました。

集会では、「憲法9条の値打ちと主権者の力」をテーマに、九条の会事務局長の小森陽一さん（東京大学大学院教授）と都内の白梅学園大学で九条の会をつくった女性（大学3年）がトークセッションしました。小森さんは、自民党憲法改正推進本部の憲法9条改定の文案案を解説し、「9条の2」を新設し自衛隊を明記することで、「9条1項、2項を死文化し、海外での集団的自衛権の全面的な行使に道をひらくもの」と述べ、安倍9条改憲阻止の「3000万人署名」に全力をあげようと訴えました。女性は「世論と運動が9条を守ってきた。9条の値打ちを伝えていきたい」と語りました。



各地の若者が横断幕などをもって登壇し、4人の代表が「私と憲法」と題してスピーチ。「新宿デモ」を共催する「未来のための公共」のエミリさんが連帯スピーチしました。

若者憲法集会実行委員会はこの日、都内でこの集会と共に分科会を行いました。分科会では、共産党の吉良よし子参院議員があいさつしました。

新宿で若者2000人が、安倍政権退陣、9条守ろうとデモ

安倍政権退陣、安倍9条改憲反対をテーマに「新宿デモ」が3日、新宿で行われました。呼びかけたのは、若者憲法集会実行委員会と「未来のための公共」です。全国各地から若者ら2000人が参加し、「安倍政権から9条守ろう」「安倍政権は今すぐ退陣」とコールしました。

デモは、2台のサウンドカーやドラム隊を先頭に行進。参加者は「憲法守れ」「9条いいね」などが書かれたプラカードを掲げ、休日の繁華街でアピールしました。

仙台市から参加した男子高校生(18)は、「安倍政権による、公文書の改ざんは絶対に許せない」と憤り、地元で宣伝も行っているといいます。「民主主義の土台が壊されようとしています。私は、まっとうな政治をしろと声をあげ続けます」と語りました。また、大学院生の女性(26)は、改ざんやねつ造、セクハラ発言などが繰り返される安倍政治を見て、「あきらめてしまえば、私たちがウソを許してしまうことになる」と強調。どこからかやってきて悪を成敗する“水戸黄門”はいないと述べ、「私たち一人ひとりが、この政治を終わらせよう」とサウンドカーの上から訴えました。

デモに先立つ集会では、日本共産党の田村智子副委員長、自由党の野沢哲夫東京都第1区総支部長があいさつしました。

各地のとらきみ

埼玉 「改憲絶対許さない」 北浦和に1万3500人が集う！

戦争法(安全保障関連法)の廃止や改憲反対を訴える市民集会「6・3オール埼玉総行動」が3日、さいたま市浦和区の北浦和公園で行われました。参加者はプラカードなどを持って、「安倍9条改憲反対」「立憲主義の回復を」と平和憲法を守るよう訴えました。

主催は、戦争廃止や改反対を訴える団体、労組などの105団体と、趣旨に賛同する個人らでつくる実行委員会。「総行動」は、集団的自衛権の行使容認が閣議決定された2014年に実行委員会が結成されました。大規模集会は今回が5回目で、去年の1万人を上回る1万3500人が集まりました。

登壇者からは、9条に自衛隊を明記する憲法改正への危機感とともに、公文書の改ざんやセクハラなど問題が次々と噴出しているにもかかわらず安倍政権が続くことへの憤りやいらだちの声相次ぎました。小出重義実行委員長は「安倍政権による憲法改正を絶対に許してはいけません。埼玉から反対の嵐を起こしていこう」と呼び掛けました。後援団体の埼玉弁護士会、埼玉労連、連合埼玉の代表もあいさつしました。

ゲストスピーカーで招かれた外交評論家で元外務省国際情報局長の孫崎亨さんも「うそと詭弁を言う首相はもう必要ない」と安倍政権を批判しました。また、登壇した立憲民主党の菅直人最高顧問、共産党の田村智子副委員長、社民党の又市征治党首、国民民主党の小宮泰子衆院議員、自由党の松崎哲久が、安倍政権打倒、安倍9条改憲阻止を目指して、野党が一つになって市民と共闘する必要性を訴えました。田村氏は、「大義ある市民と野党の共闘と、『安倍首相のうそを許すな』という圧倒的な世論で、最終盤の国会を包囲しよう」と訴えました。菅氏は「国政選挙で野党が一本化してたたかえば、必ず安倍政権に勝てる」と訴えました。野党代表が手を取り合うと、会場は大きな拍手に包まれました。



集会では、立憲主義を取り戻すアピール文を採択後、参加者は「戦争させない！憲法壊すな！」と声高にコールしました。

集会後、参加者は周辺をパレードして声を上げ、市民に訴えました。